

赤潮情報第60号

(八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、ココロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが八代海で最大230細胞。減少傾向ですが、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県と漁業者グループが八代海を調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL当たり**最大230細胞**確認されました(有明海为天草市島子地先で490細胞)。八代海では減少傾向ですが、100細胞以上確認されている地点もあり、今後の海況によっては再び増殖するおそれがあるため、引き続き警戒が必要です。

シャットネラ属は、八代海北部で**最大80細胞**確認されました。今後の海況によっては増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

ココロディニウムは、八代海では確認されませんでした(有明海で最大12細胞)。

カレニア ミキモトイやシャットネラ属は有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、**餌止めや、状況に応じて緊急出荷等の対策**を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 5m, 10m層の海水1mL当たりの細胞数です。
()の数字はシャットネラ属。[]の数字はココロディニウム。【採水時刻】

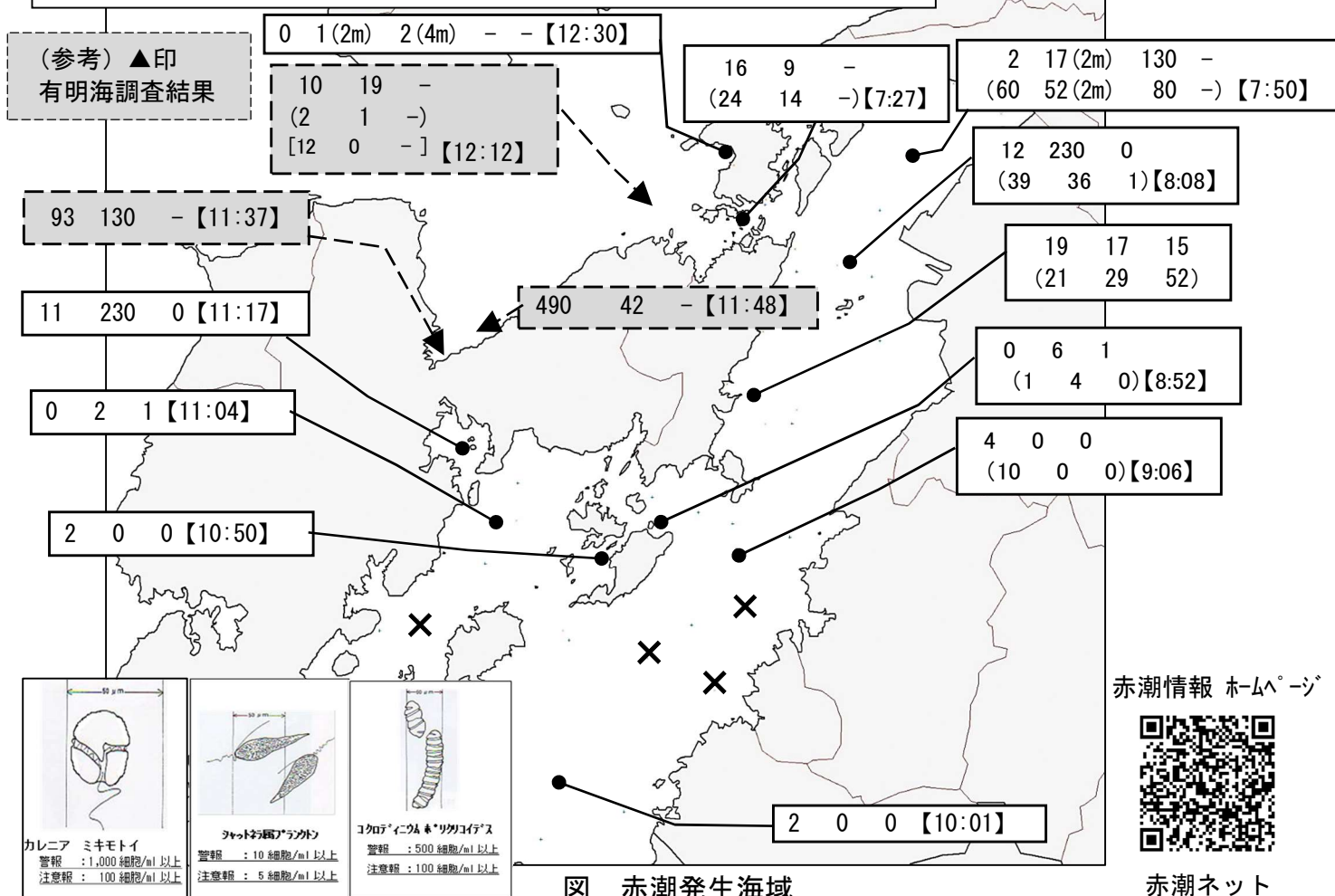


図 赤潮発生海域

※×印 : 全ての採水層でカレニア ミキモトイ、シャットネラ属、ココロディニウムが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

